

# 丸運グループ長期経営ビジョン 2017~2026 丸運イノベーション



2017年5月12日

株式会社 丸運

**Maruun Corporation** 



## ＜丸運グループ経営理念＞

### ● わたしたちの使命

「お客さまの物流ソリューションを最高の品質と創造力で革新し社会の発展に貢献します」

「私たちは、今後10年間に毎年2%以上の成長を続け、組織そして個人も、ともに20%以上パワーアップした姿に進化することを目指します」

- Business Innovation
- Mind Innovation
- Cost Innovation
- System Innovation

長期経営ビジョンに基づく3年間の実行計画

グループ  
経営理念

長期経営ビジョン

策定

丸運イノベーション

修正

中期経営計画 2017～2019

私たちは、今後10年間に毎年2%以上の成長を続け、  
組織そして個人も、ともに20%以上パワーアップした姿に進化することを目指します

## 1. 営業収益、経常利益、売上高経常利益率が20%以上伸長

- ✓ 営業収益600億円以上、経常利益20億円以上、売上高経常利益率3.5%以上

## 2. 従業員満足度、顧客満足度、株主満足度が向上

- ✓ それぞれの調査結果で、満足度が20%以上向上

## 3. 企業認知度、HP来訪者ともに20%以上アップ

- ✓ ステークホルダーの「丸運」認知度が大幅に高まり、物流業界におけるプレゼンス向上

## 4. 組織そして個人も、ともに毎年2%以上の成長を継続

- ✓ 労働生産性が20%以上アップし、従業員一人あたりの営業収益が20%以上増加
- ✓ 一人あたりの年間総労働時間を20%以上削減し、全従業員の労働時間が20%以上減少

## 5. ダイバーシティの推進が定着

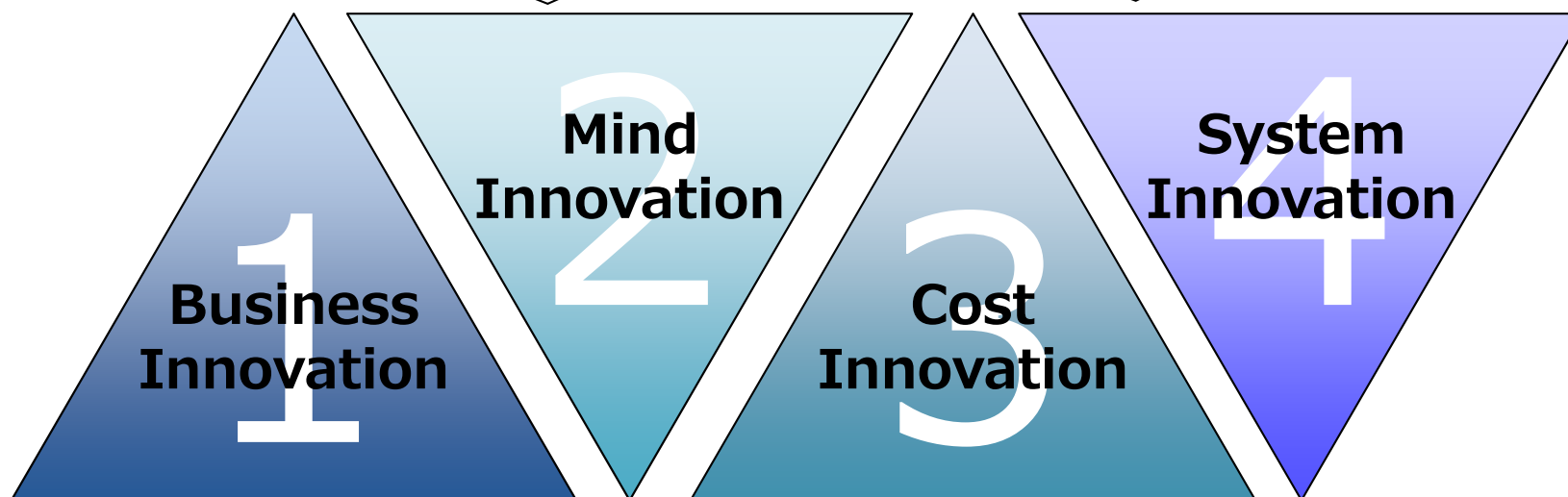
- ✓ 女性社員（スタッフ、ドライバー、オペレーター）比率が20%以上増加
- ✓ 外国籍社員（海外採用含む）比率が20%以上を占有

## ～丸運スピリットのパラダイムシフト～

- コーポレート・サポート&事業戦略立案機能の強化
- 人材の確保・育成・活用
- CSRマインドの涵養と実行
- DefensiveマインドからOffensiveマインドへのシフト
- CI (Corporate Identity)戦略の推進

## ～丸運グループの全面的な業務改革を推進～

- 基幹システムの全面的再構築  
(Maruwn Logistic System=MLS)
- システム再構築の時間軸と投資レンジ
- システム投資の効果測定
- 新システムのフル活用



## ～10年後につながる成長戦略ビジネスの展開～

- B to B (Business)
- B to C (Consumer & CSR)
- B to O (Overseas & Outside)
- B to M (Memorial & Monumental)
- B to E (Efficiency)

## ～コスト削減は日常的かつ永遠の課題～

- コスト削減意識の徹底
- コスト競争力のアップ
- 投資戦略の再構築

# 丸運グループの経営計画体系



## 丸運グループ経営理念

長期経営ビジョン (125⇒135)  
“10年後の目指す姿”を共有化し、全員のベクトルを定める

### <丸運イノベーション : Innovation-4>

#### Business Innovation

既存ビジネス変革  
新規ビジネス展開  
海外ビジネス強化

#### Mind Innovation

パラダイムシフト  
企業風土変革  
CSR経営、CI変革

#### Cost Innovation

コスト構造変革  
競争力・収益力強化  
投資戦略の再構築

#### System Innovation

基幹システム再構築  
経営サポート  
業務サポート

### <第2次中期経営計画 2017~2019>

セグメント毎に立案：貨物輸送、潤滑油・化成品、流通貨物  
国際貨物、石油輸送、コーポレート、関係会社

組織・個人の行動計画（年度予算）への反映

組織・個人の結果（年度決算）に対する評価・報酬

## サマリー

- 経営理念“わたしたちの使命”  
「お客さまの物流ソリューションを最高の品質と創造力で革新し社会の発展に貢献します」
- 長期経営ビジョン（2017~2026年度）  
「私達は、今後10年間に毎年2%以上の成長を続け、組織そして個人も、ともに20%（≒1.02<sup>10</sup>）以上パワーアップした姿に進化することを目指します」
- 長期経営ビジョンにおいては、“Innovation-4（Business, Mind, Cost, System）”として、4方向からのアプローチで20%アップの実現を目指す。  
■ 各イノベーションについて、既成・固定概念に囚われることなく、変革意識/当事者意識/プロ意識を持って競争力の向上に努める。
- 長期経営ビジョンの実現に向けて、実行プランとしての「中期経営計画」を策定する。  
■ 3年間の時間軸での計画ではなく、常に長期経営ビジョンの実現を意識した策定と実行に努める。  
■ “Innovation-4”について、丸運グループ内に水平展開を行うことにより、グループ内の一体的ムーブメントとする。
- 策定された中期経営計画を年度事業計画・予算に年次展開する。  
■ “長期経営ビジョン~中期経営計画~年度事業計画・予算”の一貫性を持った会社経営の実現が可能となるよう“行動計画”へ落とし込む。  
■ 計画に対する“PDCA評価サイクル”を回す。